

# 会長退任のご挨拶

福岡教育大学 古川 稔

平成 24 年 4 月から会長を務めさせていただきましたが、本年 3 月末をもちまして 2 期 4 年の任期が終了致しました。退任に当たりご挨拶申し上げます。

4 年前から役員の変替時期を会計年度に一致させていただきましたが、このことで事業や予算の執行と責任の所在が明確になり、年度末と年度初めの運営がスムーズになったことは大きな利点であったと思います。

この 4 年間の活動を振り返ってみますと、平成 24 年 12 月に本学会誌の別冊として「21 世紀の技術教育」(改訂)を発行し、平成 25 年 3 月に「技術教育の理解と推進」、平成 26 年 6 月に「今、世界の技術教育は？」の 2 つのリーフレットを発行致しました。さらに、平成 26 年 8 月に「21 世紀の技術教育」(改訂)の内容の充実を図り「発達段階における普通教育としての技術教育内容の例示」を発行致しました。これらの刊行物の成果を元に、平成 26 年度後半には「普通教育における技術教育の充実」に関する署名活動を全国的に展開し、平成 27 年 5 月 15 日に文部科学大臣に 22,791 名の署名を添えて要望書を提出致しました。これらの印刷物の発行や署名活動には、多くの会員の皆様のご協力を得ました。心より感謝申し上げます。学会からの要望が、現在審議中の次期学習指導要領改訂に反映されることを切に願っております。

学会の最大の使命であります学術研究に関しましては、全国大会における口頭発表件数は 200 件を超えるまでに増加しています。学会誌掲載論文につきましては、投稿から掲載までの期間の短縮や、複数査読者による質の向上が図られていますが、年間掲載論文数はこの 20 年間約 30 編で推移しており、口頭発表数の増加を掲載論文数の増加につなげることが課題であると考えます。

これまでの 4 年間の皆様のご厚情に感謝致しますとともに、本学会並びに技術教育の発展のために今後ともお力添えいただきますことをお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平成 28 年 3 月末日